学びの庭

文責　瀬古口

平成二十五年十月号

文化発表会・体育大会

富雄中学校のすばらしさをあらためて再認識させられました。どんな行事も楽しいことが大事です。しかし、楽しいだけではダメで、ほんの少しであっても**高み**を目指す真剣さが必要です。全校生徒が誰一人ふざけることなく取り組んでいる姿に、思わず涙が出そうになりました。見ておられた保護者や、地域の方から感嘆の声があちこちで上がり、例年にもまして素晴らしかったという感想をいただいています。

もう一つは、学年が上がるにつれて素晴らしいと言うことです。これは、当たり前のことに思われがちですが、決してそうではありません。富雄中学校では、三年生が素晴らしいので、下級生があのようになりたい、ならねば・・・と努力してくれます。それが、富雄中学校のすばらしさの一番の要因かもしれません。

合唱は、いろいろな取り組みを積み重ねてきた集大成の行事です。曲決め以前に、学級での仲間作りや日々のコミュニケーション、優しさがあふれる言動など、四月からの様々な営みがあります。学級でマイナスの発言が多く出るようではなかなか前に進みません。そんなことを乗り越えての当日の発表。素晴らしかったという言葉では表しきれないほどでした。午前中の二年生の合唱も私が過去知っている二年生のどの合唱よりも素晴らしかった。しかし、午後の三年生の合唱は私の想像を超えて、学級合唱の域をはるかに凌駕していました。

合唱コンクールの「金賞」は、歌い終わったときに決まります。しかし、最後の礼が終わってステージを降りるまで、目に涙をいっぱいにためている人、ほっとして赤い笑顔で涙を流しそうになっている人、目が真っ赤で涙を流したたえ合っている姿、自分たちの歌声に感動した姿がたくさんありました。そういう気持ちになれば、もう賞なんて関係ありません。自分たちが納得できれば、それで十分に「金賞」です。二年生・三年生の全クラスが金賞だと思いました。

体育大会は、色団練習の時から驚きでした。普通はぎこちない二十六日の最初の練習の時、「うまくいかないなあ」ともので す。私の経験でも「うまくいかないなあ」と思って、落胆したことのほうが多かったです。しかし、今年の色団練習のスタートは違いました。どの色も三年生のリーダーシップがしっかりしており、下級生も楽しく ついて行っている姿がいたるところに見受けられる素晴らしい練習でした。勝手なことをしている人が本当にいない。まとまりが感じられる素晴らしい人が自分の団のために」頑張ろうと思う練習だったと思います。

そして当日、自分の出来ることを精一杯しようと誰もが努力しており、結果に関わらず「温かい声援」にあふれていました。みんなが心底楽しく競技している姿を見て、来られた方みんなが感心しておられました。スローガン「一致団結して 仲間の輪を深めよう」の通り、色団のまとまりは、今までのなかで最高の盛り上がりだったと思います。凄かった！「富雄中学校が大好き」とみんなが思った一日だったと思います。

大きな行事が終わり、一分のことを深く考えてみる」大事な時期です。一年生は、十八日には「ゲストティチャー」があたくさん来られ、自分こがれが仕事になっていますどお話をしてくれます。中学生時代に芽生えたこと、お仕事のことなどんなことが楽しいのかしっかりと聞いて欲しいと思います。

二年生は、十一月十二日から三日間の職場体験が始まります。実際に事業所でお世話になるわけですから、学校に来る以上に疲れるかもしれません。しかし、得られるものはいっぱいあると思います。富雄中での頑張っていること「お互いを尊重する」を基本にしてみてください。何よりも素直なところです。大丈夫！頑張ってください。

三年生は進路選択の時期になります。十一月十一日から三者懇談の一回目が始まります。中学校で学んだことを更にレベルアップした内容を学びに行くのですから、自分のなりたい職業や仕事をイメージしながら考えてみてください。

人生の大きな選択・岐路であることは間違いないことですが、それが全てではありません。人生は何度もやり直しがききますし、途中で考えが変わることも多いと思います。中学校時代の親友同士が、高校の合否で別れ別れになり、悲しみいっぱいで卒業していったのですが、大学を出てから入った会社が同じで、新入社員として机を並べている。私の教え子の実話です。

人生とは、不思議なものでまさに「塞翁が馬」です。目の前のことにベストを尽くすことが案外真実かもしれません。中学時代にしか出来ない経験も多いです。クラスのみんなで応援しあって超えていって欲しいと思います。

SIRI（シリ）に人生って何？って聞いたら「人に親切にすること、食べ過ぎないこと、いい本を読むこと、適度に散歩すること、信条や国家を問わず、あらゆる人々と平和に仲良く暮らせるように努力することです。」と答えが返ってきたそうです。

Topics（文化発表会・体育大会）